

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
Ver.10a	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	McAfee VirusScan Enterprise 8.8に対応しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
	クライアントインストーラ	機能改善	クライアントを新規インストールする時に自動でクイックアップデータエージェントをインストールするようにしました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
	ドライバ	瞬間復元機能が使用する一時フォルダ内のファイル削除に失敗し、瞬快のタスクトレイのアイコンが赤色になる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
	クライアントインストーラ	クライアントを復元タイプ「ファイル・フォルダ単位」でサイレントインストールした場合、インストール後に修復対象・対象外領域を示すツリ表示が正しく反映されていない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
	SROクライアントインストーラ	ひな型PCにシステムリカバリクライアントをインストールした直後にディスクイメージ取得を行った場合、そのディスクイメージを配信すると、配信先のPC上で「0091 指定されたファイルが存在しません」というメッセージが表示され、Windows環境設定の処理ができない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 上、特上	-	ひな型PCにシステムリカバリクライアントをインストールした後、「Deployment Agent」サービスを再起動してください。その後、ディスクイメージの取得を実施してください。
	インストーラ共通	「Windows ファイアウォール」サービスが停止している場合、瞬快のインストールに失敗する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	瞬快をインストールする際、「Windows ファイアウォール」サービスを開始した状態で行ってください。
	クライアント	瞬快クライアントサービスが起動しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
	サーバ	瞬快サーバサービスが起動しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
	管理機能	瞬快コンソールに登録されたクライアントPCが削除できない。 瞬快コンソールで削除したいクライアントPCを選択し削除を実施しても、「最新の情報に更新」を実施すると元に戻ってしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 並	-	-
	システムリカバリ	システムリカバリ機能の「Windows環境の設定」サービスを実行した時に以下の情報が設定されない。 ・固定IPアドレス ・優先DNSおよび代替DNS	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 上、特上	-	弊社HPのトピックスで掲載しております「システムリカバリ機能の後処理が正しく動作しない」の「対応方法」を実施してください。
	システムリカバリ	システムリカバリ機能の「ディスクイメージ配信(端末設置後の後処理用)」サービスが64bit OS上で正しく動作しない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 上、特上	-	-
	システムリカバリ	システムリカバリ機能のコンソールとサーバが別のPCにセットアップされている環境下において、以下のサービス作成に失敗する。 ・「ユーザ指定処理(ファイル転送あり)」を含むサービス ・「瞬快サイレントインストール」を含むサービス ・「ハードディスクデータの消去」サービス	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 上、特上	-	-
	スケジューラ	別セグメントに存在するクライアントPCに対して、以下の電源オンを伴うスケジュールを実行しても電源オンに失敗する。 ・電源オン ・Windows Update連携	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
Ver.10b	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	以下のウイルス対策ソフトに対応しました。 ・ウイルスバスター Corp 10.0 対応 ・ソフォス 9.7 対応	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	-	-
	ドライバ	機能追加	瞬間復元機能なしインストールに対応しました。 瞬間復元を利用しない場合は、瞬間復元機能無しインストールを行うことで、ディスク暗号化ソフトとの共存が可能となります。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	-	-
	システムリカバリ	機能追加	2011年度上期ESPRIMO、LIFEBOOKの新機種に対応しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 上、特上	-	対応機種の詳細は、瞬快のホームページを参照ください。
	システムリカバリ	機能追加	Office 2010 アクティベーションに対応しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 上、特上	-	-
	省電力機能	機能追加	富士通製ノートパソコンのピークシフト機能に対応しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	-	ピークシフト機能が動作する機器については、瞬快のホームページを参照ください。
	運用支援	機能追加	複数サーバの分散化機能の負分散型に対応しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	-	-
	管理機能	機能改善	有線LANと無線LANの両方を搭載したクライアントPCの、管理コンソールでの管理方法を改善しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	-	-
	管理機能	機能改善	クライアントが一台も登録されていない場合、機器管理画面のリモート登録ボタンが無効となりリモート登録ができない。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 上、特上	-	ダミーのクライアントを一台登録してください。

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	ドライバ	SSDを搭載したWindows7のPCにて、ファイルフォルダ単位の更新モードおよび、パーティション単位の修復モードと更新モードで運用を行うと、ファイルが壊れる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	Windows7以外では発生しません。SSDがTrim機能に非対応の場合は発生しません。	
	ドライバ	Adobe Flash Catalystがファイルフォルダの修復モード中に起動できない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	-	
	クライアント	OS起動時に、UICollector.exeが動作を停止する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	-	
Ver.10b+	システムリカバリ	機能追加	Windows PE を使用した LIFEBOOK A561/C へのディスクイメージ取得および配信に対応しました。	【レベル】 Ver.10b以前 【グレード】 上、特上	NICベンダーのサイトから当該機種に対応したLANドライバを個別追加する。	
	システムリカバリ	ESPRIMO D581/C および LIFEBOOK A561/C に対して、DR-DOSを使用したディスクイメージ取得および配信を行うと通信エラーが発生する。	LANドライバを更新しました。	【レベル】 Ver.10b以前 【グレード】 上、特上	NICベンダーのサイトから当該機種に対応したLANドライバを個別追加する。	